

オンライン作文・小論講座

文章博士

添削実例 - その5

中学2年 四宮基稀君の作品

<http://bunshohakase.com>

この添削実例はご本人の許可を得て作成したものです。
通常の添削とちがい、当講座では1作品を3回書き直す方式をとっているため、
作品の完成度が高くなることが期待されます。作品が変化向上していくようす、
詳しい添削レポートをごらんください。

制作著作：考える学習をすすめる会

<<第1回目の添削>>

四宮基稀君へ

こんにちは。寒さが厳しくなりましたが、お元気ですか。

私の住んでいる地域では昨日の朝大雪で、犬の散歩に行くことを考えながらため息をつきました。昼までにやんで溶け始めたのでほっとしましたが。

さっそくですが、今回の課題はいかがでしたでしょう。

「ダイオキシン」「ハイブリッドカー」「ノーマイカーデー」「資源ゴミ」などの環境用語がたくさん使ってあるところなど、さすが基稀君だなあ、と思いました。

しかし、正直第一課題のときのような歯切れの良さがなく、とまどいながら書いている様子が目に浮かびます。たぶん日常生活の中で、あまり考えたことのないテーマだったのでしょうか。

ところで、小論文を通して、入試試験官は受験生の何を見ようとしていると思いますか。

それは、

「四宮基稀君という人が、どういう人なのか」

「どんな社会的意識をもっているか(その広さと深さ)」

ということなのです。

それをふまえた上で、書き方としてのポイントは、

(起) 問題点(問題例)をいくつか簡単に書く。

例「今、大阪では、…のような問題が起こっている」

「いろいろ知っているよ」と**社会的意識の広さ**をアピール

そこから一つの問題だけ、理由つきでひろい出す。

例「この中で私が最も重要だと思うのは、　　の問題である。なぜなら…だから。」

・ 字数の制限があるので、挙げたすべてについて論じる必要はありません。

一つに絞って論じたほうが効果的 「くわしく知っているよ」と**社会的**

意識の深さをアピール。

・自分が書けそうな問題をもっともらしくとりあげる

(承) 取り上げた問題の原因,解決策を論じる...この「問題点を提示する」と「原因をさぐり、解決策を示す」こと、この2つを書かなければならないのが小論文なのです。

・できるだけ自分が実行できそうな解決策を書いたほうが、説得力があるし、印象も良いですよ。

(転)なくてもかまいませんが、書くなら、

出そうな反論についてちょっと触れる

例「…という人もいるかもしれないが、それについては…すれば良いのではないか」

(承)で書いたことは別の視点でちょっと書く。

例「他の都市では…のようなシステムになっているらしいが、それも良い方法だと思う」

(結) ちょっと一般化してまとめ

例「私達が…することが、『環境にやさしい生活』である」

この小論文の基本的な筋、型をまず強く意識してくださいね。

では、以上のようなことを考えながら、基稀君の作品を見てみましょう。

私の考える環境にやさしい生活

中2 四宮基稀

起(問題提起)

僕(私)の住んでいる大阪の町は決して環境にやさしい町とは言えない(良い書きだして ず)。道路には車がたくさんはっていて排気ガスが出たりしている(が大量に排出されている)。港には工場がたくさんあってダイオキシンなどの有害物質がたくさん出ている。そして、木もそれほど植えてある気がしない(樹木の数も少ない)。たくさん植えたら邪魔になるということもあるかもしれないが、絶対に光合成が間に合わないと思う。

1)小論文では「僕」は使わず、「私(たち)」にしましょう。

2) 問題を「大阪の町」に限定するのは良い作戦です。ただしこれが入試本番なら、「私の住んでいる」はいいですね。

3) 問題をもっと簡単かつ明確に書きだしましょう。

例: **自動車の排気ガスなどによる光化学スモッグ、ごみ焼却施設からのダイオキシン発生、緑が少ないことからヒートアイランド化などが問題になっている。**

* 「承」で「ごみ問題」について論じるなら、「港の工場」より、「ごみ焼却施設」と書いた方がよいでしょう。

参考

ヒート-アイランド [heat island]

(気温分布図を描くと、等値線の形状が海に浮かぶ島の形に似ていることから)都市部を中心にした高温域。風の弱いときに顕著になり、周辺地域よりも高温の空気が都市域をドーム状におおう。都市化に伴う地表面の人工的改変、大量のエネルギー消費などによって熱がたまることがその成因。熱の島。

ちなみに、地球上の酸素供給は熱帯雨林に大きく依存しています。熱帯雨林は地球陸地の6%しかありませんが、酸素供給能力は地球全体の約50%(アマゾンの熱帯雨林だけで地球全体の30%)あります。大阪府がいかに努力するとしても、光合成による酸素供給の観点から「緑の重要性」を語ることは難しそうです。

4) 基稀君が挙げた問題の中で、くわしく論じられそうな問題を、一つだけ選ぶ。

例: **この中で、私達中学生の日常生活にもっともかかわりの深い問題は、「ごみ焼却施設の問題」だろう。なぜなら、ごみ焼却施設からのダイオキシン発生を抑えるためには、私達が毎日出している「燃えるゴミ」の量を減らすことが重要であるからだ。**

ほら、このような書き方をすると、うまく1つに持っていくことができるでしょう。

承(問題の発生理由と解決策) 1

まず、車のことい(に)について考えてみましょう(よう)。二年くらい前にハイブリッドカーというものができた。水素を爆発させてはしるので環境にとってもやさしい車。でも、一台一千万円程度するらしく一般人には手が届かない。(うーん、このあたり、事実誤認が多く含まれているようですね)そこで、車を使うのをできるだけ少なくしようというノーマイカーデーなどといった電車やバスを使いましょうといった交通量の減少と排気ガスの減少を狙った運動が行われている(大阪では、交通量と排気ガスの減少を狙い、毎月20日毎週金曜日をノーマイカーデーに指定している)。

(ここで一行あいているのは、入力ミスでしょうか?)

これならお金をあまりかけずに環境問題に取り組むことができる。

- 1) ハイブリッドカーが市販されたのは、1997年に発売されたトヨタ自動車のプリウスが世界初ではないでしょうか。ハイブリッドカーは水素自動車ではなく、ガソリンエンジンと電気モーターの二つの動力源をもっている自動車のことです。現在300万円以下で入手できるようですよ(プリウス・標準車両本体価格)。
- 2) 「ノーマイカーデー」の内容を読み手(試験官)に説明する必要はありません。敵は一般常識において、受験生のはるか上を行っていることをお忘れなく(笑)。
- 3) 自動車は自分で選んだり運転することがない分、資料を集めて調べなくてはならないことが多いし、基稀君自身が実践できる解決法を示すことも難しそうですね。今回は避けた方が無難かも。

このように、自分が挙げた問題点すべてを書こうとすると、いろいろ知識不足のアラが出てしまうでしょう。だから、あまり知らないことは書かなくてすむようにしてしまいましょう。

承 2

次に工場。何かを作っている工場ならば、(とる)私達消費者にはどうすることもできないが、ゴミの焼却工場などならば自分達の家庭内でゴミを出さないような工夫ができるし、冷蔵庫などの資源ゴミ(冷蔵庫は資源ゴミではなく廃家電なのでは?)はできるだけ修理するなどして捨てないようにしたほうが良いと思う。最近ゴミは紙などが増えてきているらしい。でも(とる、ここに逆接の接続詞は不要)紙はトイレでも使うし、鼻をかむときはハンカ

ちよりもティッシュのほうが使いやすい。でも(**とる**)それが紙のゴミが多くなる原因を作っているんだと思う。でも(**だが** 'でも'は口語です)いきなり使わなくなるなんてこと(**などと** **いうこと**)は有り得ないし、いつも何気なく使っている紙を使うのを少なくするだけでも大変だと思う(**とる**)。

1) 次のような書きだして、最初から話を「燃えるゴミを減らすこと」にしぼりましょう。不安かもしれませんが、そのほうが深く書けます。

例: 「燃えるゴミ」の量がなかなか減らないのは、私達一人一人に「ゴミを減らすのは自分の責任だ」という自覚が足りないからではないだろうか、特に子どもは「そんなことは大人の責任だ」と思いがちだが、私達中学生にもできることはたくさんある・・・

2) 「燃えるゴミ」を減らす方法について思いつかなければ、ちょっと取材してみましょう。

ヒント1: 基稀君の住んでいる市のゴミ分別方法を調べてみましょう。

紙ゴミやペットボトルは、私の住んでいる市では「資源ゴミ」です。これらをきちんと分別して捨てるだけでも、ゴミ焼却施設へ持ち込まれるゴミの量が変わります。

基稀君はきちんと分別して捨てているかな？

ヒント2: ご両親が家庭や職場で、ゴミを減らすためにやっていることはないか、聞いてみましょう。基稀君にできることもきっとありますよ。

3) 小論文ではよほどのことがないかぎり「思う」は使わない。どうせみんな「思う」ことを書いているのです。

参考

資源ゴミ

紙、鉄くず、アルミニウム、ガラスびん、布など、再生利用可能なごみのこと。再生資源ともいう。ほとんどの自治体では、家庭ごみを可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、の3種類に分別して収集し、焼却、埋め立て処理をしているが、再生利用可能な資源ごみを分別収集し、資源化に供している自治体もある。そのほか、住民による集団回収や回収業者による資源ごみの回

収も行われている。

粗大ゴミ

家庭から排出される大型のごみ。家具や家電製品、自転車、ふとんなどがある。東京都ではポリ容器に入りきらない大きさのごみを粗大ごみと定めている。粗大ごみは、専用の処理施設に運ばれて破碎され、鉄分などを回収した後、可燃部分は焼却され、不燃部分は埋め立て処分されている。粗大ごみは年々増加しているため、近年は不用品交換コーナーを設置したり、粗大ごみとして出される家電、家具などをリサイクルセンターに集め、必要な人に譲る制度を導入する自治体が増えている。

逆接

ある条件に対して予期される結果の現れないことを示す表現形式。条件と結果との間に食い違いのあることを示すもの。「二時間待った。しかし、彼は来なかった」「努力したが、だめだった」の類。普通、接続詞・接続助詞を用いて表現する。逆態接続。

結 まとめ

今回の作品には「まとめ」がありませんでしたが、まとめは小論文をしめくくる大切な部分です。次回はお忘れなく。

例: 私達一人一人が「環境を守るのは自分の責任である」ことを自覚し、自分にできることを毎日きちんとする生活が、「環境にやさしい生活」だと私は考える。

試験の本番では「調べる」ことはできないので、持っている知識だけで勝負しなくてはなりません。

あらゆる時事問題について深く調べておくことはできませんしその必要もありませんが、「環境」のような小論文のテーマになりやすい問題については、日常関心を持ち、さっと一作品書けるくらいの知識を持っていたほうが良いでしょう。本番では、「自分が書けること」に話を持っていくのがコツです。

「自分自身が実行できる解決策を提示する」という意味では、家庭や学校など身近なところから取材したほうが良いですが、以下のような HP も参考になるかもしれません。

* エコギャラリー おおさかの環境ホームページ

<http://www.epcc.pref.osaka.jp/>

* 環境について調べる－環境 goo

http://eco.goo.ne.jp/word/s_ichiran.html

参考に、ささやかながら私が「燃えるゴミ」を減らすためにやっていることを、ちょっぴり書いておきます。

1.食料品の紙箱なども、ゴミ箱に捨てずこまめに紙ゴミとして分別する

裏が白いちらしやカレンダーなどにメモをとり、「新しい紙」は減多に買わない。

3.生活クラブの組合員になっている

「生活クラブ」の食品や生活用品は、簡易包装になっています。

牛乳も紙パックではなく、何度も使えるビンに入っています。

4.生ゴミを堆肥化している

5.シャンプーや台所用洗剤などは「つめかえ用」を買い、一つのプラスチック容器を長く使う。

最後に、今回の作品の字数は688字でした。「600字程度」と書かれていたら、過不足分は原稿用紙2～3行、全部で540～660字の範囲内でおさめてください。

寒さが厳しいときなので、風邪やインフルエンザに気をつけて。

次回の作品を楽しみにしています。

文章博士添削アドバイザー

竹下 加奈子

<<第2回目の添削>>

四宮基稀君へ

昨日牛久(私が住んでいる茨城県内の市です)は、「もう春かな？」と思うくらい暖かい日になりました。今日も雨は降っていますが空気がゆるんでいます。大阪はいかがでしょう。

インフルエンザからは逃げ切りましたか。

二回目の作品読ませていただきました。大変身ですね！1通目は、悪いというのではなく誰もがこう書くだらうという答案でした。

ところがちょっとしたアドバイスでこの2通目...これはもうじゅうぶん「優秀答案」の仲間に入りかけています。形はりっぱな小論文になりました。形の整った小論文を書ける子は、中学生でもほんのわずかしかないんです。私はほんとうにうれしかったです。ウロコ先生もとても喜んでいました。

『入りかけた』と言ったのは、細かいところではまだ問題がいくつか残されているために、優秀答案の仲間には入れられないからです。その問題点をクリアすれば、基稀君の答案はピッカピカ。どこに出しても恥ずかしくないものになります。もう、基稀君はここまで来たんですよ！

これで終わらせたらもったいなさすぎます。あと一頑張りして、りっぱなものに仕上げましょうか。

私の考える環境にやさしい生活

中2 四宮 基稀

起(問題提起)

私の住んでいる大阪の町は決して環境にやさしい町とは言えない。道路には車がたくさんはしっていて(とる)排気ガスなどによる光化学スモッグ、ゴミ焼却施設から出ているダイオキシン。(ゴミ焼却施設からのダイオキシン発生)そして樹木(緑)が少ないことによるヒートアイランド化などが問題になっている。

普通の合格答案レベルなら次の1)2)は考えなくてもOK。これらはピッカピカの一流答案にする秘訣です。

1)「排気ガスなどによる光化学スモッグ」と書けば、車がたくさん走っていることは書かなくてもわかりますね。

2)ヒートアイランド対策として「芝生を植えよう」という動きもあるようなので、「樹木」に限定せず「緑」としたほうがよいでしょう。

承(問題の発生理由と解決策)

ここでは、ゴミ焼却施設からのダイオキシン発生を抑えるため、燃えるゴミをどうすれば減らせるかについて書くことにします(する)。なぜなら、これは私たち中学生にも関わりの深い問題だからだ。燃えるゴミが年々増えてきている(減らない)理由のひとつに、自分があまり(後ろへ移動)ゴミを出しているという感覚(自覚)があまり無いとゆ(い)うことがある。特に私達のような子どもにはあまり関係の無いことだと思いがちだが、私たちも大量のゴミを出しているし、それを減らすためにできることはたくさんある。まず(例えば)、買い物包装(のとき、ビニール袋)を断ること。別に手提げ袋でなくリュックでもショルダーバッグでも何でもよいから持参し、その中に買った商品を入れる。私はいつも買い物に行くときはリュックを背負って出かける。これだけでダイオキシンの発生をいくら抑えられる。ビニール袋1、2枚の節約では対した(大した)効果が得られないのではないかと思うかもしれないが、もし日本国民全員がビニール袋をもらわなかったら約一億二千万枚も(大阪府民全員が一人一回ずつビニール袋を断れば、約884万枚も)節約できる。他にもティッシュ(紙ゴミ)やペットボトルなどの資源ゴミをきちんと分別するだけでも、ゴミ焼却施設へ持ち込まれるゴミの量は変わります(る)。これらのことは意識さえすれば誰にでもできることなのです(だ)。

1)文末表現に「ですます調」と「だ、である調」の両方が出てきますが、どちらかに統一するのが文章表現のルールです。

小論文の場合は「だ、である」に統一したほうが良いでしょう。

2) **なぜこの問題をとりあげるのか、理由をひとこと書きましょう。**

3)「自分がゴミを出しているという自覚」がない人は、昔から多かったと思います。

私は、昔のほうが多かったぐらいだと思っています。三十年前、田舎に住んでいた私の伯母も、都会から来た私の制止もきかず家の脇を流れる清流にゴミを投げ入れていました。「大丈夫や。水が全部持ってってくれる」などと言いながら。

それでも、50年位前なら放っておいても土に還るゴミが多かったし、ゴミになるようなもの自体が少なかったので、たいした問題にはなりません。今は別の色々な理由から土に還らないゴミ(石油からつくられるポリなど)が増えたので、一人一人の自覚が重要になってきたのです。

だから、この自覚がないため、「ゴミが年々増えてきている」のではなく、「ゴミを減らすことができないのだ」と考えたほうが良いと思います。

4)「まず…」で始めると、読み手は、同じくらい重要なことが「次に…」「最後に…」という形で紹介されると期待します。でも、今回は、「ビニール袋を断ることがメインで、「資源ゴミをきちんと分別すること」がサブ、という感じ。「例えば…」「他には…」という形のほうがしっくりするでしょう。

5) せっかく書き出して「大阪は…」と地域を限定しているのですから、「日本国民全員」より「大阪府民全員」といきましょうか。

それから「日本国民(大阪府民)全員がビニール袋をもらわなかったら」と書いてあったら、「日本国民(大阪府民)全員、以後一切買い物するときビニール袋をもらわなかったら」という意味にも受け取れます。そうすると、節約できるのは一億二千万枚(884万枚)どころではありませんよね。一体何枚になるのか、私にはとても計算できません。みんなが協力するようになるといいですね。

6) 使用済みティッシュは資源ゴミにならないので、「紙ゴミ」としておきましょう。

これで基稀君も分別をまた1つみんなより正確に知ったことになりますね。

結 まとめ

私の考える環境にやさしい生活とは、一人一人が環境問題についてよく知り、自分が環境を守るんだと思い(**のだと自覚し**)、そして実行することです(**実行する生活だ**)。

「～環境にやさしい生活とは」という書きだしに対応して、「～する生活だ」で締めくくりましょう。

「生活 = 実行すること」ではありません。対応関係にはきちんと目を向けて！

今回字数は580字。「540～660字の範囲内」にぴったりおさまりましたね。

字数を守っていなければ減点対象になる可能性が大きいですから、これからも気をつけてください。

さて、今回で「私の考える環境にやさしい生活」の添削はほとんど終わってしまいました。指定のところを直すだけ。らくちんすぎるので、次回は新しい課題も一つ書いてみましょうか。

新課題：あなたは、自分の気持ちや考えをあいにくに正確に伝えるためにはど

のようなことを大切にすればよいと思いますか？

経験をもとに 200 字程度で書きなさい。

【平成 14 年度大阪府立高校前期試験（総合学科、専門学科、帰国生徒、中国帰国外国人生徒対象）出題】

この課題の方が、基稀君の日頃考えていることが素直に書けそうかな。ただ、字数が少ないだけに、また別の苦労があるかもしれません。「少ない字数で要領よく！」に挑戦してね。

三回目の宿題は、

小論文「私の考える環境にやさしい生活」を仕上げる。

(再び、字数制限に気をつけて。

オーバーしたらどこかで調整してください)

上記の新課題について書く。

の二つです。

一回め、二回目と比べるとかなり楽だと思いますので、できれば当講座を受講した感想なども少し添えてくれると嬉しいです。

牛久は梅のつぼみがふくらんで、かすかですが春の兆しを確かに感じる今日この頃。大阪はもっと暖かいでしょうね。

基稀君の三回めの作品が届くのと、最初の梅の花が開くのとどちらが早いかな。

両方とも楽しみです。

文章博士添削アドバイザー

竹下 加奈子

<<第3回目の添削>>

四宮基稀君へ

こんにちは。実は第二回の添削を送った後、犬の散歩をしながら梅の小枝をよくよく見ると、もう花がぼつりぼつりとほころんでいました。今はもう、木によっては、五分咲きぐらいになっています。

こぶしの花芽もふくらんできました。ふきのとうはまだかな。次々に春のお便りが届くのが楽しみな、今日この頃です。

さて、もう一つ、私が楽しみにしていたお便りが、大阪から届きました。
期待通り、**作品は二つとも「優秀答案」でしたよ！**

さっそく、「私の考える・・・」のほうから見てみましょう。

私の考える環境にやさしい生活

四宮 基稀

私の住んでいる大阪の町は決して環境にやさしい町とは言えない。排気ガスなどによる光化学スモッグ、ゴミ焼却施設からのダイオキシン発生、そして緑が少ないことによるヒートアイランド化などが問題になっている。

ここでは、ゴミ焼却施設からのダイオキシン発生を抑えるため、燃えるゴミをどうすれば減らせるかについて書くことにする。なぜなら、これは私たち中学生にも関わりの深い問題だからだ。燃えるゴミが減らない理由のひとつに、自分がゴミを出しているという自覚があまり無いということがある。特に私達のような子どもにはあまり関係の無いことだと思いがちだが、私達も大量のゴミを出しているし、それを減らすためにできることはたくさんある。例えば、買い物するとき、ビニール袋を断ること。別に手提げ袋でなくリュックでも何でもよいから持参し、その中に買った商品を入れる。私はいつも買い物に行くときはリュックを背負って出かける。これだけでダイオキシンの発生をいくらか抑えられる。ビニール袋1, 2枚の節約では大した効果が得られないのではないかと思うかもし

れないが、もし大阪府民全員がビニール袋を断ればかなりの量の節約になる。他にも資源ゴミをきちんと分別するだけでも、ゴミ焼却施設へ持ち込まれるゴミの量は変わる。これらのことは意識さえすれば誰にでもできることなのだ。

私の考える環境にやさしい生活とは、一人一人が環境問題についてよく知り、自分が環境を守るのだと自覚し、そして実行することだ(**生活だ**)。(642 字)

1) **超優秀答案**です。これだけ書ける受験生はほとんどいないはずです。

このテーマに関しては、「楽勝」の自信を持ってください。

2) パーフェクト！グレート！・・・と書きたかったのですが、最後の最後、大切な点を一つ、直し忘れていました。そう、赤字で書いたところです。

ここは前回私が、

「～環境にやさしい生活とは」という書きだしに対応して、「～する生活だ」で締めくくりましょう。「生活＝実行すること」ではありません。対応関係にはきちんと目を向けて！

と書いたところなので、見逃せません。残念！

次の課題では「主語と述語の対応関係」に十分気をつけて、「パーフェクトな優秀答案」を目指しましょう。

3) 本番では、**30分**で600字書き上げなければなりません。普段考えたことのないテーマだったら・・・かなり厳しいですね。

ちなみに、総合学科のみですが、「環境関連」のテーマは、「わたしの生活と環境保護」(平成10年)、「水とわたしたちの生活」(平成11年)、「私たちの生活とリサイクル」(平成12年)、「私の考える環境にやさしい生活」(平成14年)と、かなりの頻度で出題されています。

もし総合学科受験を考えているようでしたら、普段から環境関連のニュースにはある程度関心を持っていたほうが良いでしょう。

さて、次は新たに宿題になったテーマです。

あなたは、自分の気持ちや考えをあいにくに正確に伝えるためにはどのようなことを大切にすればよいと思いますか？
経験をもとに 200 字程度で書きなさい。

四宮 基稀

私はどちらかと言えば、自分の考えをはっきり言う方ではないし、伝えるのも上手くはない。だが、だが (とる) 努力はしている。

例えば、急な用事ときは、できるだけ落ち着いて相手の目を見る。そして、はっきりと言葉を喋ることを心がけている。

最近、携帯電話のメールなどが普及してきたが、自分の気持ちや考えをきちんと相手に伝えるには、電話やメールを使うよりも、実際に会って話した方が、より気持ちが伝わるだろう (効果的だろう)。 (203 字)

1) 「さすが基稀君。期待したとおり、しっかりした考えを持っている」と感心しました。 **優秀答案** です。

今何かと問題になることが多い「携帯電話」に話をつなげるあたり、「社会的意識」の広さをアピールすることにつながり、ポイントが高いでしょう。

2) 最後の文、「自分の気持ちや考えをきちんと相手に伝えるには・・・より気持ちが伝わるだろう」と同じ意味のことを重ねて書くのはおかしいですね。

3)ところで、「はっきりと言葉を喋ること」が「自分の気持ちや考えをあいてに正確に伝えるため」に必要なことはとてもわかりやすいのですが、「できるだけ落ち着いて相手の目を見る」ことは、なぜ必要なのでしょう。

私は次のように考えます。

あいての目、つまり表情を見ることで、あいてが自分の話をしっかり聞いているかどうか分かるから
言葉だけでなく、自分の目、つまり表情でも「気持ちや考え」を伝えられるから

逆に言えば、電話やメールではあいての表情がわからないし自分の表情も見せられないので、「気持ちや考え」を正確に伝えにくいのです。

このことを明確に主張するために次のように書けたら、**超優秀答案**です。

例: 私は、大切な用事的时候は、できるだけ落ち着いてあいての目を見て、はっきりと言葉を喋ることを心がけている。あいての目を見れば、あいてが話をきちんと聞いているかどうか分かるし、あいてが私の目を見れば、言葉だけでなく表情で気持ちや考えを伝えることができる。最近携帯電話が普及してきたが、電話やメールではお互いの表情がわからない。実際に会って話した方が、自分の気持ちや考えをより正確に伝えることができるだろう。

さあ、これで、基稀君の「過去問への初挑戦」が終わりました。想像以上にたいへんで、びっくりしたかもしれませんね。

でも、安心して。基稀君にはまだ一年も時間があるのですから。

今回の課題作文の、一回目と三回目を比べてみてください。全然違うでしょう？ たった二回の書き直して、これだけ進歩させることができたのですよ。

このような訓練を入試まで続けていけば、鬼に金棒です。

ここで、私からうれしいお知らせです。基稀君の作品「私が考える環境にやさしい生活」には、文章博士添削指導者全員一致で、「優秀賞」をおくることになりました。そして、もし、基稀君とお母様の許可が得られれば、中学生の小論文として、HPの無料ダウンロード版に加えさせていただきます。お母様と相談の上、お返事ください。

申し込んでくれた課題数はあと一つ。何か、書いてみたいテーマはありますか。それとも、また過去問をこちらで選びましょうか。

こちらもお返事待っていますね。

基稀君の次の作品を読む頃には、ふきのとうが顔を出しているかな。ジャスミンが薫^{かお}り始めているかな。

風邪やインフルエンザにお気をつけて。

文章博士

竹下 加奈子